

令和3年度 一般財団法人沖縄美ら島財団 企画展

「世界の切手でみるランの物語」

Exhibition of World Orchids on Stamps

小さな芸術品を通して見るランの大きな世界



ランと送粉昆虫が描かれた切手（マダガスカル、1985年）

2021. 12.14 (火) ~ 12.26 (日) 1.2

■開館時間：9:00~18:00（金・土は20:00まで）

*入場は閉館の30分前まで

■休館日：12/20（月）

■観覧料：無料

■お問い合わせ先：沖縄県立博物館・美術館

TEL: 098-941-8200（代表）

おさみゅーウェブサイト



■主催：一般財団法人沖縄美ら島財団

■共催：日本郵便株式会社沖縄支社

■協力：沖縄県立博物館・美術館、国立印刷局お札と切手の博物館、琉球大学博物館（風樹館）、東北大学植物園、沖縄県蘭協会

■後援：沖縄県教育委員会、世界自然遺産推進共同企業体、琉球放送、琉球朝日放送、沖縄テレビ放送、NHK沖縄放送局、沖縄タイムス社、琉球新報社、エフエム沖縄、ラジオ沖縄

「世界の切手でみるランの物語」

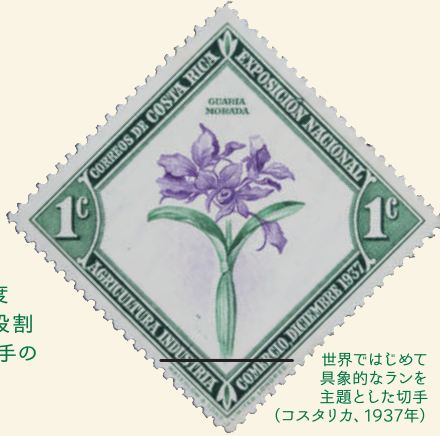
ランは地上の植物の中で最も多様化したグループで、その華やかなイメージから、多くの国で切手の題材に取り上げられています。

本展覧会では、沖縄美ら島財団が所蔵する世界中の植物が描かれた切手のコレクション約10,700点の中からランが描かれた切手を中心に厳選し、ランの進化

の歴史や人類との関わりを紹介すると共に、それが切手でどのように取り上げられてきたのかを、様々な切り口で紹介します。また、日本郵便株式会社沖縄支社との共催により、沖縄における郵便事業の歴史をふりかえります。切手という「小さな芸術品」から垣間見えるランという植物の大きく多様な世界をお楽しみください。

プロローグ 郵便と切手の歴史

日本の郵政150周年にあたる今年、近代郵便制度とともに誕生した切手の役割と、日本や沖縄の郵便と切手の歴史をふりかえります。



世界ではじめて具象的なランを主題とした切手（コスタリカ、1937年）

1 花とランの切手

花やランが、いつどのように切手に現れ、現在のように多くの種類が発行されるようになったのか、その歴史をひもときます。



世界ではじめて画面にランが現れた切手（仏領グアドループ、1905年）

2 印刷技術とラン切手 （協力 国立印刷局お礼と切手の博物館）

切手の印刷は、偽造防止の技術革新と共に発展してきました。ランの切手の多様化に印刷技術が果たした役割を解説します。



はじめてバニラを主題とした切手（仏領マダガスカル、1957年）

3 ランの研究と切手

ランという植物の多様化の歴史を明らかにしてきた様々な研究と、それが切手の図柄にどう反映されてきたのかを紹介합니다。



ラン研究者が描かれた切手（豪州領クリスマス島、1977年）



ラン絵画切手「Reichenbachia orchids」からの1枚（ガイアナ、1986年）

ランの絵画と切手 4

写真のない時代に発達をとげた写実的な植物画を切手の画面に凝縮した、ラン絵画切手の珠玉の逸品を紹介し



ラン産業の拠点となる植物園の記念切手（シンガポール、1979年）

ランの産業と切手 5

世界におけるランの産業化（花卉園芸、バニラ産業）の歴史をひもとき、その下に誕生した栽培種の切手を



はじめてランが描かれた自然保護切手（東ドイツ、1957年）

自然保護とラン切手 6

自然保護を啓発するために発行された切手に、ランがどのように描かれてきたのか、国内外の実例をあげて解説します。



日本ではじめて具象的なランが描かれた切手（日本、1987年）

ランに見る切手のお国柄 7

世界のランを中心とする植物の切手を紹介しながら、ランが切手に描かれる頻度やその地域差の背景にあるものを考えます。

関連
催事

講演会

- 12/14(火) 13:30～16:10 (13:00開場) ●場所：博物館 講座室 ●参加費：無料（定員50名）
- 参加方法：事前申込（来館 または TEL.098-941-8200）＊11/14(日)から受付開始

「切手から眺める世界」 切手デザイナー 玉木 明（日本郵便株式会社 本社）

「ラン切手の世界」 米倉 浩司（一般財団法人 沖縄美ら島財団）